

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]	[授業形態]	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	対面授業（遠隔及び登校）	選択必修
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 30時間（15コマ） （うち登校による授業18時間）	
[担当教員および実務経験]		
渡辺 康子 ・ 星野 和幸		
[授業の目的]		
ソーシャルワークの専門性と基盤や倫理の理解の上に、ソーシャルワークの視点（人と環境の相互作用への視点）、生活モデル、アプローチについて学ぶ。 また、ソーシャルワークのプロセスや専門性についても学ぶ。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストやスライド・動画、プリントを用いて講義中心に実施する。内容の区切りのよいところで確認テストを行い、スモールステップを繰り返すことで、より効率的な知識の定着を図る。		
[授業の到達目標]		
1) 人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 2) ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチについて説明できる。 3) ソーシャルワークのプロセスと活用する知識や技術、価値について説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
すべての単位課題の正答率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。		
[使用テキスト・参考文献]		
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座〔共通科目〕12 ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）』中央法規出版、2021年		
[備考]		
なし		

[授業計画(内容)]	
1	ソーシャルワーク理論と枠組み①
2	ソーシャルワーク理論と枠組み②
3	ソーシャルワーク理論と枠組み③
4	ソーシャルワークのプロセス
5	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①
6	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②
7	アセスメントツール実践
8	様々なアプローチ実践①
9	様々なアプローチ実践②
10	ソーシャルワーク面接の意義と目的、および方法
11	ソーシャルワークの記録の意義、目的と方法
12	ケースマネジメントの原則、意義
13	インテーク実践①
14	アセスメント実践②
15	プランニング実践③
[単位課題]	
単位課題 1	ソーシャルワークの視点（人と環境の相互作用への視点）、生活モデル、アプローチ
単位課題 2	ソーシャルワークの人と環境の相互作用におく視点、生活モデル、代表的なアプローチ（たとえば心理社会的アプローチ、機能的アプローチ）について説明し、また、ソーシャルワークの過程とその留意点をまとめなさい。

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]	[授業形態]	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	対面授業（遠隔及び登校）	選択必修
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 30時間（15コマ） （うち登校による授業12時間）	
[担当教員および実務経験]		
渡辺 康子 ・ 星野 和幸		
[授業の目的]		
グループワークやコミュニティワークといった方法について、概念とプロセスを学ぶ。 また、ソーシャルワークにおけるケアマネジメントやスーパービジョン、コンサルテーションといった関連技術についても、その概念を学ぶ。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストやスライド・動画、プリントを用いて講義中心に実施する。 内容の区切りのよいところで確認テストを行い、スモールステップを繰り返すことで、より効率的な知識の定着を図る。		
[授業の到達目標]		
1）ソーシャルワークが総合的かつ包括的な相談援助であることを説明することができる。 2）集団やコミュニティを対象として支援の概念とその展開について説明ができる。 3）ソーシャルワークにおけるスーパービジョンとコンサルテーションについて理解し説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。		
[使用テキスト・参考文献]		
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座〔共通科目〕12 ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）』中央法規出版、2021年		
[備考]		
なし		

[授業計画(内容)]	
1	グループワークの意義と目的
2	グループワークの展開過程
3	グループワークとセルフヘルプグループ
4	コミュニティワークの意義と目的
5	コミュニティワークの展開①
6	コミュニティワークの展開②
7	コミュニティワークの理論的系譜とモデル
8	ソーシャルアドミニストレーションの概念、定義とその意義
9	組織介入・組織改善の実践モデル
10	組織運営の実際と財源の確保
11	ソーシャルアクションの概念、定義
12	コミュニティ・オーガナイズিং
13	スーパービジョンの意義、目的、方法
14	スーパービジョンの実際
15	コンサルテーションの意義、目的、方法
[単位課題]	
単位課題 1	スーパービジョンとコンサルテーション
単位課題 2	グループワーク、コミュニティワーク、スーパービジョンについて、その概念（定義、目的、展開過程）を具体的に説明し、ソーシャルワーク実践を展開するうえでこれらがなぜ必要か（意義）

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]	[授業形態]	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	対面授業（遠隔及び登校）	選択必修
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 30時間（15コマ） （うち登校による授業12時間）	
[担当教員および実務経験]		
星野 和幸		
[授業の目的]		
多様化・複雑化する課題に対応するためのソーシャルワークの様々な理論と方法について、ここでは関係形成の基礎となるコミュニケーション、面接技法を学ぶ。次いでアウトリーチやネットワーク形成に焦点を当てその方法を学ぶ。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストやスライド・動画、プリントを用いて講義中心に実施する。内容の区切りのよいところで確認テストを行い、スモールステップを繰り返すことで、より効率的な知識の定着を図る。		
[授業の到達目標]		
1）多様化・複雑化する課題に対応するためのソーシャルワークの様々な理論と方法について説明できる。 2）支援を必要とする人との援助関係の形成や、ニーズ把握の知識と技術について説明できる。 3）事例研究を通じて、ソーシャルワーカーとしての社会福祉士の専門職として必要な価値や技術、知識について説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 査点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。		
[使用テキスト・参考文献]		
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』中央法規出版、2021年		
[備考]		
なし		

[授業計画(内容)]	
1	ソーシャルワークにおける援助関係① 援助関係の意義と概念
2	ソーシャルワークにおける援助関係② 援助関係の形成方法
3	ソーシャルワークにおける援助関係③ 面接技術
4	ソーシャルワークに関連する技法① ネゴシエーション
5	ソーシャルワークに関連する技法② ファシリテーション
6	ソーシャルワークに関連する技法③ プレゼンテーション
7	ソーシャルワークに関連する技法④ カンファレンス
8	事例分析・事例検討・事例研究① 事例分析
9	事例分析・事例検討・事例研究② 事例検討、事例研究
10	事例研究① 総合的かつ包括的な支援の考え方 1
11	事例研究② 総合的かつ包括的な支援の考え方 2
12	事例研究③ 家族支援の実際 1
13	事例研究④ 家族支援の実際 2
14	事例研究⑤ 家族支援の実際 3
15	振り返りとまとめ
[単位課題]	
単位課題 1	ソーシャルワークにおける援助関係、ソーシャルワークに関連する技法 多様化・複雑化する課題に対応するためのソーシャルワークにおける援助 関係の形成において、その基盤となるコミュニケーションや他者理解 や自己覚知の重要性についてまとめてください。
単位課題 2	

授 業 計 画 (シラバス)

【科目名】 ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	【授業形態】 対面授業（遠隔及び登校）	選択必修
【対象学科・学年・時期】 オンライン通信専攻科 1年 通年		【単位数・時間数】 2単位 30時間（15コマ） （うち登校による授業18時間）
【担当教員および実務経験】 櫛野 友則 ・ 星野 和幸		
【授業の目的】 多様化・複雑化する課題に対応するためのソーシャルワークの様々な理論と方法について、ここでは社会資源の活用、調整、開発の方法と、ネットワークの形成及びコーディネーションの方法等について学ぶ。		
【授業の方法および概要】 到達目標に沿って、テキストやスライド・動画、プリントを用いて講義中心に実施する。内容の区切りのよいところで確認テストを行い、スモールステップを繰り返すことで、より効率的な知識の定着を図る。		
【授業の到達目標】 1）多様化・複雑化する課題に対応するためのソーシャルワークの様々な理論と方法を説明できる。 2）地域における社会資源の開発やネットワークの形成、コーディネーションやソーシャルアクションについてその方法について具体的に説明できる。 3）個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を具体的に展開できる。		
【成績評価の方法と基準】 すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 査点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。		
【使用テキスト・参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』中央法規出版、2021年		
【備考】 なし		

[授業計画(内容)]	
1	ソーシャルワークにおける援助関係とは
2	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①
3	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発②
4	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発③
5	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発④
6	ネットワークの形成①
7	ネットワークの形成②
8	ソーシャルワークに関連する技法① ネゴシエーション
9	ソーシャルワークに関連する技法② コンフリクト・レゾリューション
10	ソーシャルワークに関連する技法③ ソーシャル・マーケティング
11	事例研究① 事例検討、事例研究
12	事例研究② 総合的かつ包括的な支援の考え方
13	事例研究③ 地域支援の実際
14	事例研究④ 非常時や災害時支援の実際
15	振り返りとまとめ
[単位課題]	
単位課題 1	ソーシャルワークにおける援助関係、社会資源の活用・調整・開発、ネットワークの形成
単位課題 2	社会資源活用・調整・開発のプロセスについて、個別支援の視点からと、地域介入の視点からの両面から、その意義、必要性、方法についてまとめてください。

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]	[授業形態]	選択必修
地域福祉と包括的支援体制 A	印刷教材等及び対面授業による	
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1 年 通年	2 単位 6 0 時間 (うち対面授業 3 0 時間) ※ 1 5 コマ	
[担当教員および実務経験]		
白倉 啓子 (高齢者施設で相談業務、社会福祉協議会でボランティアコーディネート業務に従事)		
[授業の目的]		
これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含む福祉コミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学ぶ。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストやプリントを用いて具体例を示しながらオンデマンド配信による講義を行い、到達目標の修得度を測定する。		
[授業の到達目標]		
1) 地域福祉は、地域住民等が推進主体であることを説明できる。 2) 地域福祉は、福祉コミュニティ実現に向けた実践であることを説明できる。 3) 地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
すべての対面授業に出席した者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。 ・ 平常点 (25%) ・ 授業中に指示された課題に取り組み、自らの向上を図っている。		
[使用テキスト・参考文献]		
都築光一著『福祉ライブラリ 現代の地域福祉 (第 2 版)』建帛社、2022年		
[備考]		

[授業計画(内容)]	
1	地域福祉とは（オリエンテーション）
2	地域福祉の概念と理念
3	地域福祉の定義
4	地域福祉の原理と実践
5	外国における地域福祉のあゆみ（デンマーク、イギリス、アメリカ）
6	日本における地域福祉のあゆみ①（第二次世界大戦まで）
7	日本における地域福祉のあゆみ②（第二次世界大戦後）
8	地域社会と最近の動向
9	社会福祉協議会①（これまでのあゆみ）
10	社会福祉協議会②（法的根拠、市区町村社会福祉協議会の役割①）
11	社会福祉協議会③（市区町村社会福祉協議会②）
12	社会福祉協議会④（全国社会福祉協議会、都道府県社会福祉協議会）
13	社会福祉行政①（福祉行政の原則）
14	社会福祉行政②（福祉行政機関と組織）
15	社会福祉行政③（行政の展開過程と財政）

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]		[授業形態]	選択必修
地域福祉と包括的支援体制 B		印刷教材及び対面授業による	
[対象学科・学年・時期]		[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1 年 通年		2 単位 6 0 時間 (うち対面授業 3 0 時間) ※ 1 5 コマ	
[担当教員および実務経験]			
白倉 啓子 (高齢者施設で相談業務、社会福祉協議会でボランティアコーディネート業務に従事)			
[授業の目的]			
これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含む福祉コミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学ぶ。			
[授業の方法および概要]			
到達目標に沿って、テキストやプリントを用いて具体例を示しながらオンデマンド配信による講義を行い、到達目標の修得度を測定する。			
[授業の到達目標]			
1) 地域福祉は、地域住民等が推進主体であることを説明できる。 2) 地域福祉は、福祉コミュニティ実現に向けた実践であることを説明できる。 3) 地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての対面授業に出席した者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。 ・ 平常点 (25%) ・ 授業中に指示された課題に取り組み、自らの向上を図っている。			
[使用テキスト・参考文献]			
都築光一著『福祉ライブラリ 現代の地域福祉 (第 2 版)』建帛社、2022年			
[備考]			

[授業計画(内容)]	
1	地域共生社会実現の必要性（今日の地域社会の動向）
2	民生委員①（民生委員制度の概要と歴史）
3	民生委員②（民生委員活動の現状と課題）
4	地域福祉関係団体（各種団体のネットワーク形成のあり方や考え方）
5	福祉教育①（福祉教育の理念・目的・概念）
6	福祉教育②（福祉教育の取組みの歴史と具体的な事例）
7	地域福祉計画①（地域福祉計画の概要と目的・法的根拠）
8	地域福祉計画②（地域福祉計画の策定プロセスと用いられる調査・統計）
9	地域福祉活動計画（地域福祉計画との関係性）
10	包括的支援体制①（福祉専門職による地域におけるさまざまな活動）
11	包括的支援体制②（さまざまな機会に参加することができる支援方法）
12	包括的支援体制③（地域活動や地域づくりに関する支援のあり方）
13	災害時福祉支援体制①（さまざまな災害法制）
14	災害時福祉支援体制②（フォーマルな取り組みとインフォーマルな取り組み）
15	まとめ（今後の地域福祉の方向性）

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]		[授業形態]	選択必修
医学概論		印刷教材による	
[対象学科・学年・時期]		[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年		2単位 90時間	
[担当教員および実務経験]			
渡辺 康子			
[授業の目的]			
基本的な人体の構造と機能を理解したうえで、ライフステージにおける心身の変化にともなう健康と疾病のとらえ方について理解する。 直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解し、人々の健康に及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を考える。			
[授業の方法および概要]			
到達目標に沿って、テキストやスライド（動画）、プリントを用いて講義中心に実施する。理解度確認のため、社会福祉士国家試験の内容に沿った確認試験問題を実施する。			
[授業の到達目標]			
1)生活支援技術の根拠となる人体の主な器官とその生理的機能について説明できる。加齢に伴う生理的機能の低下と、高齢者に多い疾患（慢性腎臓病、高血圧、認知症など）との関連について説明できる。 2)日本人の主な死因と、生活習慣や生活習慣病との関連について説明できる。 3)介護保険及び、介護保険の特定疾病について説明できる。高齢者に多い神経疾患や精神疾患の特徴について説明できる。 4)脳の機能と関連させて、認知症の中核症状と、その主な原因疾患について説明できる。 5)公衆衛生学の観点から、日々直面する感染症と感染症対策について考え、対処法を説明できる。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。			
[使用テキスト・参考文献]			
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座[共通科目]1 医学概論』中央法規出版、2021年			
[備考]			
なし			

[授業計画(内容)]	
1	ライフステージにおける心身の変化と健康課題
2	健康および疾病のとらえ方
3	身体構造と心身機能①
4	身体構造と心身機能②
5	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程
6	リハビリテーションの概要と範囲
7	疾病と障害①（感染症）
8	疾病と障害②（認知症、難病、神経難病、脳機能性疾患）
9	疾病と障害③（脳血管疾患、心疾患）
10	疾病と障害④（内分泌器官、高齢者に多い疾患）
11	疾病と障害⑤（腎・泌尿器疾患、消化器・肝胆膵疾患）
12	疾病と障害⑥（血液・免疫・アレルギー疾患）
13	疾病と障害⑦（婦人科・参加、発達障害、精神疾患、精神障害）
14	疾病と障害⑧（生活習慣病、内部障害）
15	公衆衛生
[単位課題]	
単位課題 1	①生活習慣病について説明せよ。特に、死因に関わる重大な生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患、ただし全てが生活習慣病とは限らない）については、詳しく説明せよ。 ②腎臓の機能について述べよ。慢性腎臓病（CKD）についても考察しておくこと。 ③認知症の定義、および主な原因疾患（複数）とその特徴について説明せよ。 ④感染症、および感染症予防について説明せよ。COVID-19（新型コロナウイルス感染症）やワクチン、免疫などに関連させて考えるとよい。 ⑤糖尿病、およびその合併症について説明せよ。 ⑥パーキンソン病について説明せよ
単位課題 2	疾病と障害の成り立ち・回復過程とリハビリテーション

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]		[授業形態]	選択必修
保険医療と福祉		印刷教材による	
[対象学科・学年・時期]		[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年		2単位 90時間	
[担当教員および実務経験]			
渡辺 康子			
[授業の目的]			
医療現場の現状や医療・保健分野の仕組みを理解する。また、医療に関する様々な課題を見ることで、現在求められている医療について考察する。			
[授業の方法および概要]			
到達目標に沿って、テキストやスライド（動画）、プリントを用いて講義中心に実施する。理解度確認のため、社会福祉士国家試験の内容に沿った確認試験問題を実施する。			
[授業の到達目標]			
1) 医療・保健分野における諸制度を説明することができる。 2) 診療報酬制度を説明することができる。 3) 医療保険について理解し、さまざまな具体的事例に対応できる。 4) 医療ソーシャルワーカーの業務を説明することができる。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。			
[使用テキスト・参考文献]			
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新・社会福祉養成講座 5 保健医療と福祉』中央法規出版、2021年			
[備考]			
なし			

[授業計画(内容)]	
1	疾病構造の変化
2	医療法
3	医療提供施設
4	在宅医療サービス
5	医療専門職
6	診療報酬制度
7	介護保険制度
8	医療保険制度の概要
9	医療保険制度の実際
10	公費負担医療制度
11	国民医療費の概要
12	保健医療サービスにおける多職種連携
13	保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割
14	病者の理解と家族の理解
15	医療倫理
[単位課題]	
単位課題 1	診療報酬制度や医療保険制度
単位課題 2	現物給付と現金給付の違いについて留意しながら、高額療養費制度について説明しなさい。

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]	[授業形態]	選択必修
社会保障論Ⅰ	印刷教材等及び対面授業による	
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 60時間 (うち対面授業30時間) ※15コマ	
[担当教員および実務経験]		
櫛野 友則		
[授業の目的]		
少子高齢化や労働環境等の変化を踏まえつつ、社会保障の枠組み（概念と対象）と民間保険との関係性の理解に努める。また、社会保障を支える理念と財政の内容とそれぞれが抱える課題についても考察する。そして、社会保障の歴史をみる中で、現代社会における社会保障制度の役割と取り組む課題について把握する。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストやプリントを用いて具体例を示しながらオンデマンド配信による講義を行い、到達目標の修得度を測定する。		
[授業の到達目標]		
1) 生活の変容を説明できる。 2) 社会保障制度の枠組みと現代社会において取り組むべき課題を説明できる。 3) 社会保障制度の理念や財政の内容と問題点を説明できる。 4) 民間保険の重要性と公的保険制度の関係性を説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
すべての対面授業に出席した者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。 ・ 平常点(25%) ・ 授業中に指示された課題に取り組む、自らの向上を図っている。		
[使用テキスト・参考文献]		
福祉臨床シリーズ編集委員会編（阿部裕二 / 熊沢由美責任編集）『社会保障（新・社会福祉士シリーズ12）』弘文堂、2023年		
[備考]		

[授業計画(内容)]	
1	社会の変容
2	社会保障の概念と範囲及び対象者
3	社会保障の役割と意義
4	社会保障の理念
5	社会保障制度の展開（欧米）
6	社会保障制度の展開（日本）
7	社会保障の財源
8	社会保障給付費の動向と特徴
9	国民負担率と社会保障と経済の関係性
10	社会保険と社会扶助の成立要件
11	社会保険と社会扶助の特徴と関係性
12	社会保険と社会扶助の範囲
13	民間保険の仕組みと社会保険との関係
14	企業年金等の役割と機能
15	社会保障とは何か（全体）

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]		[授業形態]	選択必修
公的扶助論		印刷教材による	
[対象学科・学年・時期]		[授業回数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年		2単位 90時間	
[担当教員および実務経験]			
圓山 里子			
[授業の目的]			
わたしたちの生活を保障する最後のセーフティネットである公的扶助に関して、現代社会の貧困の様相とそれに対する生活保護制度、低所得者対策としての生活困窮者支援制度、生活福祉資金貸付制度について学ぶ。			
[授業の方法および概要]			
到達目標に沿って、テキストによる学習を進め、単位課題に取り組み、到達目標の修得度を測定する。			
[授業の到達目標]			
1. 貧困概念の歴史的変遷過程を通して貧困概念を覚える。 2. 公的扶助の位置づけを社会保険との対比によって理解する。 3. 生活保護制度の目的、基本原理・原則、そして権利と義務等について説明できる。 4. 生活困窮者自立支援制度の目的を説明し、各事業の内容を覚える。 5. 生活福祉資金貸付制度の目的を説明し、各貸付資金の内容を覚える。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、科目修了試験により期末考查を実施する。			
[使用テキスト・参考文献]			
福祉臨床シリーズ編集委員会編、伊藤秀一責任編集『新・社会福祉士シリーズ16 貧困に対する支援』弘文堂、2022年			
[備考]			
なし			

[授業計画(内容)]	
1	貧困概念の変遷
2	公的扶助の役割
3	貧困の状態にある人の生活実態と社会環境
4	貧困の歴史①
5	貧困の歴史②
6	生活保護制度①：原理・原則
7	生活保護制度②：保護の種類と範囲、基準生活費
8	生活保護制度③：扶助の種類とその内容
9	生活保護制度④：保護施設の種類とその内容
10	生活保護制度⑤：権利、義務
11	生活保護制度⑥：保護の実施体制と専門職の役割、財政
12	生活保護の動向
13	低所得者対策①：生活困窮者自立支援法
14	低所得者対策②：生活福祉資金貸付制度など
15	貧困に対する支援の今後：伴走型支援など
[単位課題]	
単位課題 1	貧困に対する法制度
単位課題 2	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名]		[授業形態]	選択必修
福祉サービスの組織と経営		印刷教材による	
[対象学科・学年・時期]		[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年		2単位 90時間	
[担当教員および実務経験]			
星野 和幸			
[授業の目的]			
福祉サービス提供組織の多様性を理解し、共通して必要となる福祉サービス提供組織の経営について学ぶ。			
[授業の方法および概要]			
到達目標に沿って、テキストやスライド・動画、プリントを用いて講義中心に実施する。内容の区切りのよいところで確認テストを行い、スモールステップを繰り返すことで、より効率的な知識の定着を図る。			
[授業の到達目標]			
1) 福祉サービス経営者としての法人の役割を説明できる。 2) 職員をサポートしリードしていく管理者の役割を理解し、説明できる。 3) 福祉サービスの質を保証し、利用者の選択と意見を取り入れていく仕組みや第三者評価を説明できる。 4) 職員の待遇、人材の確保、人材の育成を理解し、説明できる。 5) 会計財務管理の基本を理解し、説明できる。 6) 経営学の基礎知識を理解し説明できる。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。			
[使用テキスト・参考文献]			
杉本敏夫監修、小口将典編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉12 福祉サービスの組織と経営』ミネルヴァ書房、2022年			
[備考]			
なし			

[授業計画(内容)]	
1	福祉サービスの制度改革と経営
2	法人の基本形態と社会福祉
3	福祉サービスを提供する組織や団体① 社会福祉法人
4	福祉サービスを提供する組織や団体② 特定非営利活動法人
5	福祉サービスを提供する組織や団体③ 医療法人
6	福祉サービスを提供する組織の設置基準
7	福祉サービスの運営と経営に関する基礎理論
8	福祉サービスの組織に関する基礎理論
9	福祉サービスの運営と経営管理に関する基礎理論
10	福祉サービスの危機管理に関する基礎理論
11	福祉サービスの人事管理に関する基礎理論
12	福祉サービスの労務管理に関する基礎理論
13	福祉サービスの会計・財務管理に関する基礎理論
14	福祉サービスにおける人材育成の実際
15	福祉サービスの現状と課題
[単位課題]	
単位課題 1	福祉サービスの組織や団体、福祉サービスの組織と経営の基礎理論、福祉サービスの管理運営の基礎理論
単位課題 2	利用者中心の福祉サービス提供を実現するために必要と考えられる組織的取り組みを述べよ。

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]	[授業形態]	選択必修
権利擁護を支える法制度	印刷教材による	
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 90時間	
[担当教員および実務経験]		
星野 和幸 家庭裁判所の審判により成年後見人を受任。(2009年より継続中)		
[授業の目的]		
社会福祉士に求められる権利擁護の役割を担うのに必要な法制度の知識を概括的に学び、特に成年後見制度の仕組み及び実務について詳細に学ぶ。		
[授業の方法および概要]		
到達目標に沿って、テキストによる学習を進め、単位課題に取り組み、到達目標の修得度を測定する。		
[授業の到達目標]		
・ 権利擁護の基本原則を説明できる ・ 基本的人権のうち、自由権と社会権を判例を踏まえて説明することができる。 ・ 成年後見制度の意義と活用方法について説明できる。 ・ 権利擁護にかかわる組織、団体、専門職について説明できる。 ・ 意志決定支援について説明できる		
[成績評価の方法と基準]		
すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、科目修了試験により期末考查を実施する。		
[使用テキスト・参考文献]		
・ 菅原好秀著『司法と福祉』建帛社、2023年 ・ 菅原好秀著『権利擁護と法』建帛社、2022年		
[備考]		

[授業計画(内容)]	
1	権利擁護の基本原則
2	基本的人権と自由権
3	基本的人権と社会権
4	行政法
5	民法の基本原則
6	成年後見制度
7	任意後見制度
8	成年後見制度の現状と課題
9	日常生活自立支援事業
10	権利擁護の意義と支える仕組みについて
11	権利擁護にかかわる組織、団体、専門職
12	権利擁護活動と意思決定支援
13	意思決定支援と個人情報保護法
14	権利擁護と法制度
15	権利擁護と法制度の現状と課題
[単位課題]	
単位課題 1	日本国憲法の基本的人権と国民主権
単位課題 2	成年後見制度と意思決定支援

授 業 計 画（シラバス）

[科目名] 社会福祉原論B		[授業形態] 印刷教材による	選択必修
[対象学科・学年・時期] オンライン通信専攻科 1年 通年		[授業回数・時間数] 2単位 90時間	
[担当教員および実務経験] 圓山 里子			
[授業の目的] ・社会福祉に関する専門用語・知識の確認を行いながら、「社会福祉をいかに捉えていくのか」を思考しながら学修する。 ・時代背景と福祉政策の関係を学習し、その仕組みの変化と今後の対応を学ぶ。			
[授業の方法および概要] 到達目標に沿って、テキストによる学習を進め、単位課題に取り組み、到達目標の修得度を測定する。			
[授業の到達目標] ・社会福祉の全般的な基礎知識を解説できる。 ・社会福祉の歴史の概要を説明することができる。 ・社会福祉の政策に関して理解し、説明することができる。			
[成績評価の方法と基準] すべての単位課題の正答率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、科目修了試験により期末考查を実施する。			
[使用テキスト・参考文献] ・ 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座〔共通科目〕 4 社会福祉の原理と政策』中央法規出版、2021年			
[備考]			

[授業計画(内容)]	
1	社会福祉の論点
2	社会福祉の原理
3	社会福祉の思想・哲学
4	社会福祉理論の基本的な考え方
5	社会福祉の理論①
6	社会福祉の理論②

7	社会福祉の理論③
8	社会福祉の理論④
9	社会福祉の対象とニーズ
10	現代社会と社会問題の背景
11	福祉政策におけるニーズ
12	福祉政策における資源
13	欧米の社会福祉の理論①
14	欧米の社会福祉の理論②
15	21世紀社会と社会福祉
[単位課題]	
単位課題 1	社会福祉の論点
単位課題 2	社会福祉の到達点と展望

授 業 計 画 (シラバス)

[科目名] ソーシャルワーク演習Ⅰ		[授業形態] 対面授業（遠隔及び登校）	必修 選択
[対象学科・学年・時期] オンライン通信専攻科 1年 通年		[授業回数・時間数] 3単位 45時間（23コマ） （うち登校による授業16時間）※8コマ	
[担当教員および実務経験] 渡辺 康子 病院・高齢者施設において介護職員として11.5年勤務			
[授業の目的] ソーシャルワークの支援対象となる人たちが抱える問題の複雑化・多様化に対して、社会福祉士に求められる力量や働きを学び、「地域共生社会」の実現に向けて、①複合化・複雑化した課題を受けとめる多機関の協働による包括的な相談支援体制や、②地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制の構築を進めていく。			
[授業の方法および概要] 具体的な課題や状況について観る・聴く・話す・書く・体験する・考える・感じる・振り返るといった能動的な活動を組み合わせることによって、自分や社会への気づきを得て理解を深め、それらを実践に応用するスキルを身につけることを目指す。			
[授業の到達目標] ・ソーシャルワークの価値に基づいて実践で何をを目指すべきかを述べることができる ・ソーシャルワークの基本的な視点と知識に基づいて、クライアントの状況を多面的に理解し、他者がわかるように説明することができる ・ミクロ、メゾ、マクロのそれぞれのレベルでの介入について理解しており、基本的な介入スキルを身につけている ・ソーシャルワーク実践の評価について理解しており、実践についての自己評価ができ、それを実践の改善に役立てることができる			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・検査点(75%) ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。 ・平常点(10%) 授業に積極的に参加し周囲と強調しながら自らの向上を図っている。 ・出欠点(15%) 欠席する毎に点数を引いていく。			
[使用テキスト・参考文献] ・一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編『ソーシャルワーク演習 [社会専門]』中央法規出版、2021年			
[備考]			

[授業計画(内容)]	
コマ数	授業の内容
	【対面授業】
1	ソーシャルワーク演習[社会専門] の目標を理解する
2	ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）
3	アセスメント
4	プランニング
5	支援の実施とモニタリング
6	支援の終結と結果評価アフターケア
7	ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシー
8	地域における社会的孤立への気付きと生み出す支援のあり方を考える
9	事例演習 1・2
10	事例演習 3、解説（総括）
11	服役を繰り返す福祉ニーズのあるクライアントへの多機関・多職種による支援を考える
12	事例演習 1・2
13	事例演習 3、解説（総括）
14	まとめ
15	考査
	【登校による授業】
16～23	東北福祉大学通信教育部スクーリング

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]		[授業形態]	選択必修
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		対面授業（遠隔及び登校）	
[対象学科・学年・時期]		[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年		2単位 40時間（20コマ） （うち登校による授業28時間）※14コマ	
[担当教員および実務経験]			
星野 和幸			
[授業の目的]			
社会福祉士として必要な具体的かつ実践的な専門技術等の習得を図ることを目的とする。また、併せてソーシャルワーク実習の意義について理解をするとともに、実際に実習を行う分野における利用者、施設、事業者、機関、団体、地域社会等に関する基本的な理解をすることを目的とする。そして、これまで学修してきた社会福祉の専門知識を深化させるとともに、自分の援助能力の開発、今後の課題の明確化、自己理解を深める場とし、相談援助専門職としての倫理観の理解を図る。			
[授業の方法および概要]			
対面授業のうち、登校による授業は、東北福祉大学通信教育部（以下「大学」）のスクーリングによるものとする。			
対面授業のうち、オンデマンド授業では、到達目標に沿って、テキストやプリントを用いて具体例を示しながら講義を行い、到達目標の修得度を測定する。			
具体的には、実習先施設及び施設のある地域について、データ等を収集、分析してその理解を深め、さらに、実習課題ノートについて、項目に沿って作成を進める。			
[授業の到達目標]			
・実習を行う施設を利用する地域や利用者の実態、生活ニーズ等について具体的データ等を示しながら説明することができる。			
・実習を行う施設の根拠法、機能、業務内容について説明できる。			
・実習を行う施設において行われている関連業務の内容や他職種の役割等について説明できる。			
・実習計画案を作成することができる。			
[成績評価の方法と基準]			
すべての対面授業に出席した者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。			
・考查点(75%)			
・到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。			
・平常点(25%)			
・大学のレポート課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。			
[使用テキスト・参考文献]			
・日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座〔専門科目〕8 ソ			

ーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）』中央法規出版、2021年

[備考]

[授業計画(内容)]

コマ数	授業の内容
	【対面授業】
1	ソーシャルワーク実習の位置づけ
2	実習計画①実習の事前準備、実習先施設の理解
3	実習計画②実習指導者（社会福祉士）の理解
4	実習計画③実習先施設におけるソーシャルワークの理解
5	実習課題ノートの作成
6	レポート1 課題めの作成
	【登校による授業】
7～10	東北福祉大学通信教育部スクーリング（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-1）
11～14	東北福祉大学通信教育部スクーリング（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-2）
15～16	東北福祉大学通信教育部スクーリング（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-3）
17～20	東北福祉大学通信教育部スクーリング（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-4）

授 業 計 画（シラバス）

[科目名]	[授業形態]	選択必修
ソーシャルワーク実習Ⅰ	対面授業（登校による）	
[対象学科・学年・時期]	[単位数・時間数]	
オンライン通信専攻科 1年 通年	2単位 60時間 (うち登校による授業60時間)	
[担当教員および実務経験]		
星野 和幸		
[授業の目的]		
これまで学んだ倫理・価値や専門知識と基本的援助技術を、実践経験を通して統合していく主体的学習であり、さらに、将来社会福祉専門職としての一定の専門性を身につける機会とする。		
[授業の方法および概要]		
社会福祉士養成課程の基準を満たした施設における現場実習によるものとする。		
[授業の到達目標]		
・講義で学んだ価値、知識、技術に関する理論を、実習体験を通して統合できる。 ・利用者とのコミュニケーションを図り、一人ひとりの個別性・多様性を理解できる。 ・援助技術の方法がどのように活用されているかを説明できる。 ・専門職倫理を考察して、自己の価値観、援助の姿勢に偏りがいないか問い直しができる。 ・実習先で関わる専門職の具体的内容を理解し、連携のあり方を説明できる。		
[成績評価の方法と基準]		
60時間以上の現場実習による対面授業に出席した者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。		
・ 考查点(100%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、大学による評価を援用する。		
[使用テキスト・参考文献]		
・ 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座〔専門科目〕8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）』中央法規出版、2021年		
[備考]		

【授業計画(内容)】	
時間数	授業の内容
1～60	現場実習（東北福祉大学通信教育部 ソーシャルワーク実習Ⅰ）